

様式第5号

出張調査報告書

平成28年8月4日

松伏町議会議長 佐藤 永子 様

会 派 名 公 明 党

代表者氏名 川上 力



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	平成28年8月2日から平成28年8月3日
2 視 察 地	(1) 岩手県宮古市 8月2日 (2) 福島県郡山市 8月3日
3 視 察 目 的	(1) 宮古市医療情報連携ネットワーク (みやこサーモンケアネットについて) (2) 郡山市元気な遊びひろば (ペップキッズこおりやまについて)
4 視 察 者 氏 名	川上 力
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

公明党松伏町議団 行政調査日程表 (平成28年8月2日～3日)

8月2日(火)

着発		自宅	南越谷駅	南浦和駅	大宮駅	盛岡駅	盛岡駅東口	宮古駅前	昼食	宮古市視察	市内調査	宮古駅前	盛岡駅東口	ホテル
		自家用車	6:13 6:17	6:29 6:32	6:44 6:58	8:45 8:46	9:00 9:40	11:55 11:56	12:00 12:45	13:00 14:00	14:10 14:50	15:00 15:05	17:20 17:21	17:30
			JR武蔵野線・府中本町行	JR京浜東北線・大宮行	新函館北斗行	JR新幹線はやぶさ1号	レンタカー	徒歩	徒歩	徒歩	徒歩	レンタカー	徒歩	

8月2日(火)

南越谷駅 →	盛岡駅	※1	乗車券
大宮駅 →	盛岡駅	¥5,980	特急券
盛岡駅 ⇄	視察場所		レンタカー
		¥5,980	

8月3日(水)

着発	ホテル	盛岡駅	仙台駅	郡山駅	郡山市視察	昼食	郡山駅	大宮駅	南浦和駅	南越谷駅	新越谷駅	せんげん台	大正大学前
7:40	7:50	8:00	8:54	9:35	10:00	11:45	13:00	14:22	14:47	15:06	15:12	15:25	15:50
	徒歩	東武行	JR新幹線はやぶさ8号	JR新幹線やまびこ210	徒歩	徒歩	JR新幹線やまびこ140	JR京浜東北線・磯子行	JR武蔵野線・東京行	徒歩	東武スカイツリーライン・東武動物公園行	茨城急行	

8月3日(水)

盛岡駅 →	郡山駅	※2	乗車券
		¥5,150	特急券
郡山駅 →	南越谷駅	※3	乗車券
郡山駅 →	大宮駅	¥3,310	特急券
新越谷駅 →	せんげん台	¥165	乗車券
せんげん台 →	大正大学	¥380	乗車券
		¥9,005	
※1~3の乗車券は1枚で購入		¥16,840	

宮古市 TEL0193-68-9113	① 宮古市医療情報連携ネットワーク (みやこサーモンケアネット) について
郡山市 TEL024-924-2521	① 郡山市元気な遊びのひろば「ベップキッズこおりやま」について

ホテル	ホテルルートイン盛岡駅前 TEL019-604-3100
-----	---------------------------------

合計 ¥31,825
旅行会社へ ¥31,280
(朱字以外)

平成28年8月4日

松伏町議会議長 佐藤 永子 様

公明党
代表 川上力

出張調査報告書

会派で行政視察を行いましたので、その結果を下記のとおり報告いたします。

記

1 調査年月日

平成28年8月2日から平成28年8月3日まで

2 視察地及び視察目的

- (1) 宮古市医療情報連携ネットワーク（みやこサーモンケアネットについて）
- (2) 郡山市元気な遊びひろば（ペップキッズこおりやまについて）

3 視察者名

川上力

4 視察内容及び結果

- (1) 宮古市医療情報連携ネットワーク（みやこサーモンケアネットについて）

①事業の実施経緯について

平成23年12月 慶応義塾大学金子教授と厚労省中安氏の提案で大震災復興のための医療情報ネットワーク事業の提案を受ける。平成25年1月から医療情報ネットワークプロジェクトを立ち上げる。

②事業の概要について

宮古市内の医療機関・薬局・訪問看護・介護事業所に保管されている医療・介護に関する情報を、患者の同意を得た上で、相互に共有することにより効率的な医療を提供し、患者と医療機関などの双方に役立てるためのシステム。

③事業の取り組み状況及び効果について

みやこサーモンケアネットへの参加施設。

病 院 3/4 施設（75%）

診 療 所 17/26 施設（65%）

歯 科 医 15/27 施設（56%）

薬 局 15/20 施設（75%）

訪問看護 4/4 施設（100%）

介護事業所 25/32 施設（78%）

現在の登録者数2,000名強。データの共有化で医療費抑制になる。

患者にとってのメリットとして①医療機関などで相互に投薬情報や検査情報を閲覧できることにより、複数の医療機関に通院している場合の二重投薬や二重検査を防止することができる。②駆け込みで診療所を受診した際、かかりつけ医院の情報を閲覧できることにより、適切な診療を受けることができる。③複数の医療機関に通院している場合、または退院し新たな医療機関に通院する場合に、飲んでいる薬や既往歴などを患者から医師に説明する必要がなくなる。医療機関などにとってのメリットとしては、①複数の医療機関や介護事業者が関わっている患者について、情報のやり取りが迅速かつ的確になり、患者にとって、より安心感のある医療や介護を提供できる。②遠隔地のデータセンターにデータを保存することで、施設が被災した場合でもデータの復旧が可能。

④事業の課題等について

IDの紐つけが必要なので、情報共有に限界がある。介護事業所のメリットが少ない。救急隊や検案医への情報提供、健診データの共有化など。

⑤結果

地域包括ケアシステムを機能させていくうえで、医療と介護の連携は欠かせない。それをITシステム構築の面からサポートする取り組みで興味深く勉強になった。

(2) 郡山市元気な遊びひろば(ペップキッズこおりやまについて)

①事業の実施経緯について

平成23年12月23日に設置開始された施設。東日本大震災により運動不足やストレスを抱える子供や子育て中の家庭のために、子供たちの運動不足解消やストレスの発散、体力の増進を図ることを目的に設置。

②事業の概要について

鉄筋平屋建て2,400平方メートルにアクティブエリア(道具を使用して体を使って遊ぶ)、コミュニケーションエリア(親子での交流)、学びのエリア(調理を通じた食育)を行う。

③事業の取り組み状況及び効果について

利用者数は大人660,811人、こども798,329人、計1,459,140人で一日平均934人。親子の遊びのきっかけ、運動のきっかけに貢献している。アンケートでも十分満足した声が寄せられている。

④事業の課題等について

復興予算で立ち上げて、5年間の区切りが近づいており、予算の確保に課題。今後は放射線量が下がったことから、室内遊びから外遊びの場を提供する予定。

⑤結果

子育てに悩む親に対して、子供が安心して遊ぶ環境の中で、聞き手に徹することで応援をすることも。こういった活動は児童館でも実施しているか参考にしたい。

以上